

第 23 回技術倫理協議会議事録

日 時 2008 年 9 月 22 日 (月) 17 時 30 分～19 時 30 分

会 場 土木学会会議室

出席者 議長：池田駿介 (土木) 幹事：櫛田晴美 (技術士会) アドバイザー：長島 昭 (機械)
委員：皆川 勝 (土木)、中村昌允 (化学工学)、山崎宏 (技術士会)、高橋信之 (建築)、
椿原 治 (工学教育)、鳥飼誠之 (原子力)、小松尚久 (電子情報)、大輪武史 (機械)、
山田郁夫 (工学アカデミー)、島田敏男 (電気)、増田幸宏 (建築)
事務局：稲垣 一 (土木)

議 事

1. 前回議事録確認
2. シンポジウムの進捗状況
3. 倫理教育に関するアンケート
4. 各学協会の報告
5. 議事録のホームページ公開

配布資料

- No. 23-1 前回 (第 22 回) 議事録 (案)
- No. 23-2 技術倫理協議会 第 4 回公開シンポジウム (案)
- No. 23-3 技術倫理に関するアンケート
- No. 23-4 「技術士と倫理への思い」 (河原 暉 著)
- No. 23-5 「大学で技術者倫理を教えて学んだこと」 (細谷 陽三 著)

回覧資料；① 21 世紀の倫理について

- ② 技術倫理 ケースブック 第 2 版

議事メモ

1. 前回議事録確認

- ・増田幸宏委員の所属機関を書き改める (早大高等研究所 ⇒ 建築学会)
- ・ 2. シンポジウム開催計画案の 3 番目の事項における誤字を訂正する (機会 ⇒ 機械)。
なお、会費請求作業が督促された。

2. 委員の交代

- ・細谷陽三委員 (日本技術士会) より山崎宏委員に交代することが了解された。

3. シンポジウム進捗状況

皆川委員より資料 23-2 を基に説明され、以下のとおりとした。

- ・基調講演講師 3 名のうち 1 名は技術士会の山崎委員が承引された。「実例に学ぶ技術者倫理」について講演する予定である。
審査のプロセスについて述べて頂きたいとの要望があった (技術士会了解)。
- ・コーディネーターは三木委員にお願いすることを確認した。
- ・主題は「産官学における技術倫理の確立」、副題を「内部通報などの倫理問題にどう対処すべきか」とする。
- ・シンポジウム参加費は無料とする。
- ・資料代 (1,000 円/部を予定) を参加者から徴収する。講師およびパネリストには各 1 部、当協議会構成学協会の事務局には各 5 部をそれぞれ無償提供する。
- ・講師謝金は、当協議会委員以外の基調講演者には 1 万円 (税無) を予定し、その他は謝金無とする。
- ・講演集 (資料) は 150 部、A4 版 モノクロ 簡易綴じとし、原稿 (PPT ファイル) を 11 月 14 日までに事務局に送る。パネリストも一人当たり 6 画面 (講演集 1 ページ分) の原稿を用意する。

- ・後援を依頼する（対象：日本工学会、JABEE）。当協議会構成団体には共催を依頼する（主催は協議会）。
- ・閉会後に懇親会を予定する。場所はシンポ会場、30名程度の立食形式とする。
- ・広報用のチラシを作成する（電子ファイルを構成団体に送り、プリントアウト、掲示してもらう）。参加申込用紙も準備する。これらは協議会ホームページに掲載、ダウンロードできるようにする。
- ・CPD 協議会にプログラム登録する。

4. 各学協会の報告

土木；

- ・①倫理問題が発生した場合の学会としての意見表明の確立、②処分のあり方（制度）の整備、について検討中。
- ・処分のプロセス、とくに学会資格取得者（倫理事項履行義務あり）の場合、を具体化したい。

原子力；

- ・7月に倫理規定改定議論に資するための研究会を実施した。
- ・「技術者倫理 ケースブック 2」（回覧資料）を作成した。実例を多く含んでいる。
⇒当協議会の要望により、12月シンポの会場で販売することとした。
- ・9月の原子力学会秋の大会で、電気事業者の不正・不適切行為の再発防止に係る企画セッションを開催した。

技術士会；

- ・常設7委員会のひとつに倫理委員会があり、年7回開催している。多様な問題（苦情）を整理し倫理案件を抽出している。案件になるものは数%だが、その分根が深いといえる。
- ・10月17日に全国大会があり、毎回倫理問題を取り上げている。来年3月にはテンポラリーの行事を企画中。
- ・プロジェクト制度があって複数のチームが活発に活動しているが、整理が必要と考えている。来年に方向性を出したい。

電子情報通信；

- ・当協議会の会費制について、本日理事会で審議中。承認の見込みである。

工学教育協会；

- ・8月1日～3日日工教年次大会の中で、札幌先生がオーガナイザーとなり技術者倫理オーガナイズセッションが開催された。
- ・教育力向上の研修会を8月28日～30日に実施した。この中で池田駿介先生が「教育者倫理」について講演された。（教育士制度の一環）。
- ・日工教は公益法人を目指しており、第4条（規律）については、会員の倫理綱領のみならず、組織と規定で縛ることを求められている（公益法人では学協会のセルフガバナンスが必要とされている）。

電気；

- ・8月28日に技術倫理研修を実施。44名（教育関係11名、企業33名）が参加。ディスカッションの時間が足りなかった。
- ・今後は、上記研修の支部への展開、事例集の追加、ティーチングノート出版を予定。

建築；

- ・2委員会、①事例の活用手法の開発（E-ラーニング）、②建築系教育機関での倫理教育のあり方を検討している。
- ・法人に対する処罰、処分が難しい。除名以外の処罰が必要である。

化学工学；

- ・学会としての活動は低調なので、今回のシンポを大学等へ投げかけ意識の高揚を図りたい。
- ・事件事例研究会を立ち上げた。約20社が参加し、一月半に1回開催している。2年間で成果を出す予定である。

機械；

- ・2007 年末に倫理規定を改定した。
- ・問題への対処法を小野先生の提案を基に検討し理事会に上程したがペンディングになっている。
- ・除名（定款）以外の処罰（1 年間資格停止、戒告など）、公開方法などを議論しているが進まない。
- ・処罰に対する異議申立てが必要との意見があった。

アカデミー；

- ・7 月理事会で技術倫理作業部会が承認。当協議会の会費制も承認された。

5. 議事録のホームページ公開

- ・当協議会で確定した議事録を公開する。公開後に訂正することも可とする。

6. その他

- ・倫理教育に関するアンケートの件は次回に検討する。
- ・次回は12月15日（月）17：30～、土木学会会議室（CD）とする。